

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会
No.123 2015. 4. 18
発行責任者 松本 幸一
編集責任者 教 宣 部

車両データの活用等による検修体制の見直し提案！

仕業検査体制 4名から3名に削減！

仕業班で7名の要員削減！

4月15日、本部・本社間で「平成27年度要員計画について」業務委員会が開催されました。この中で「車両データ分析センターの新設及び仕業検査検修体制の見直し」と称し、大阪仕業検査車両所の仕業班で7名の要員削減を提案してきました。

仕業検査1名減っても

検査時間はそのまま50分！

具体的な仕業検査の変更は現行4名（検査3名+SEK1名）のところを3名（検査2名+SEK1名）で従事するという事です。しかし、作業時間は今と同じ50分です。

本当に出来るのでしょうか？

会社は、業務委員会で「仕業検査時に確認していたATCチャートや保守情報の分析を車両データ分析センターでするのでしなくてよい」「屋根上点検扉の改修によって移動ロスの削減ができる」と言っています。

本当に出来るの？

現行、仕業検査の行程と時間は、(A担当) 屋根上検査時間は開始から16号車検査まで約15分、帰路に約5分の約20分。1号車運転台作業で約30分。

(B担当) 側検査は約20分、16号車運転台検査で約5分、客室検査修繕で約25分。

(C担当) 側検査は約20分、16号車運転台検査で約10分、床下検査で約20分。

以上のように、各担当それぞれ約50分で仕業検査を終えます。

どうしたら、会社の言うような検査2名で時間は50分で仕業検査ができるのでしょうか？まさか、検査時間を削るということはないでしょうね？

慌てさせたため「ミス」「事故」「怪我」に繋がる恐れがあります。

私達は社員の安全を守り、車両の安全・安定輸送のために問題点を明らかにしていきます！！

現場管理者にも確認していきましょう！！